豊かな老後に向けた iDeCo の活用について

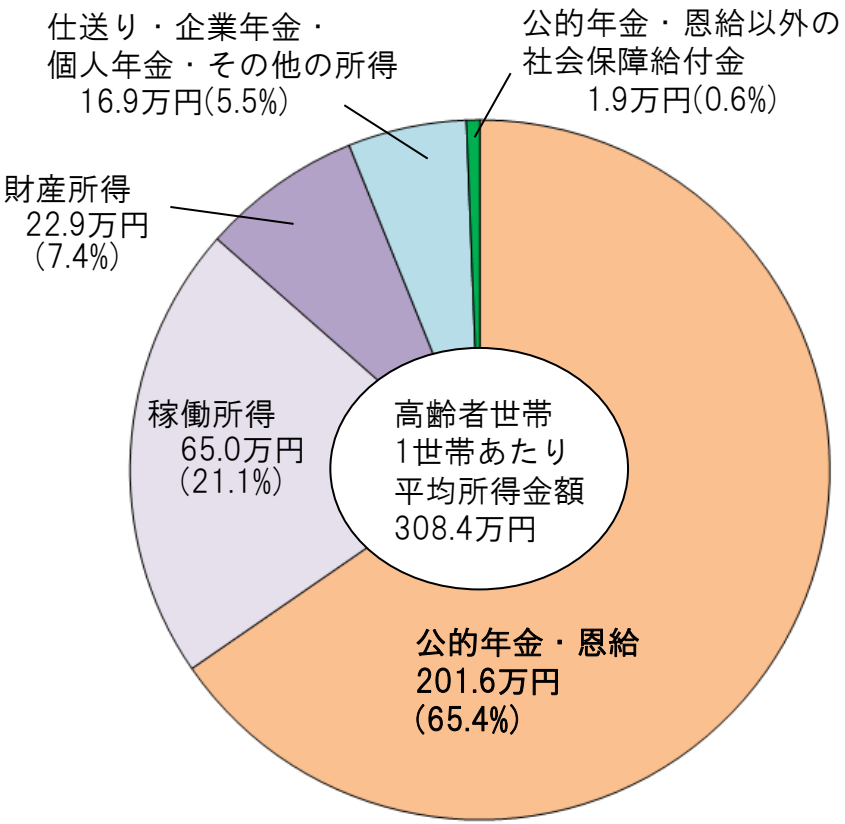
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

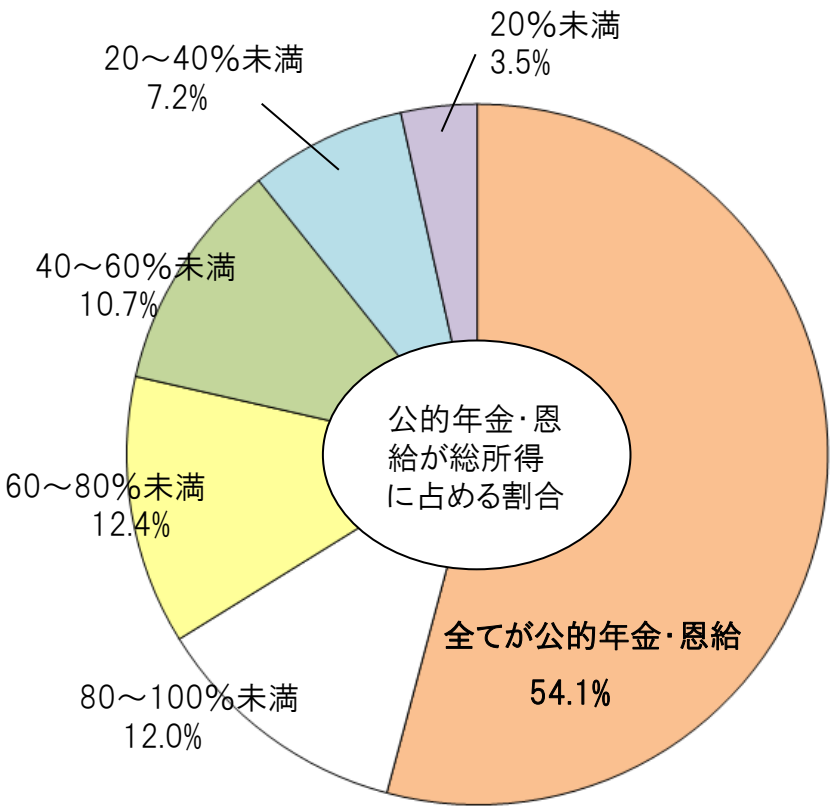
年金局 企業年金・個人年金課

2018年1月

高齢者世帯の収入の状況

➢高齢者世帯の収入の65%を公的年金が占める。
➢高齢者世帯の50%強は公的年金のみで生活している一方、50%弱は公的年金に他の収入を組み合わせて生活している。





（資料）平成28年国民生活基礎調査（厚生労働省）

「ねんきんネット」のご案内

メリット①

➢24時間いつでもどこでも、パソコンやスマートフォンで、最新の年金加入記録を確認できる！

メリット②

➢将来受け取る年金の見込額をさまざまな条件に応じて試算できる！

メリット③

➢ご利用登録はカンタン！（日本年金機構のホームページから）

STEP1 新規登録画面から、基礎年金番号などの必要事項を入力
STEP2 日本年金機構より、ユーザＩＤをお届け
STEP3 ユーザＩＤ・パスワードを使用して、「ねんきんネット」へログイン

そもそもiDeCoってなに？

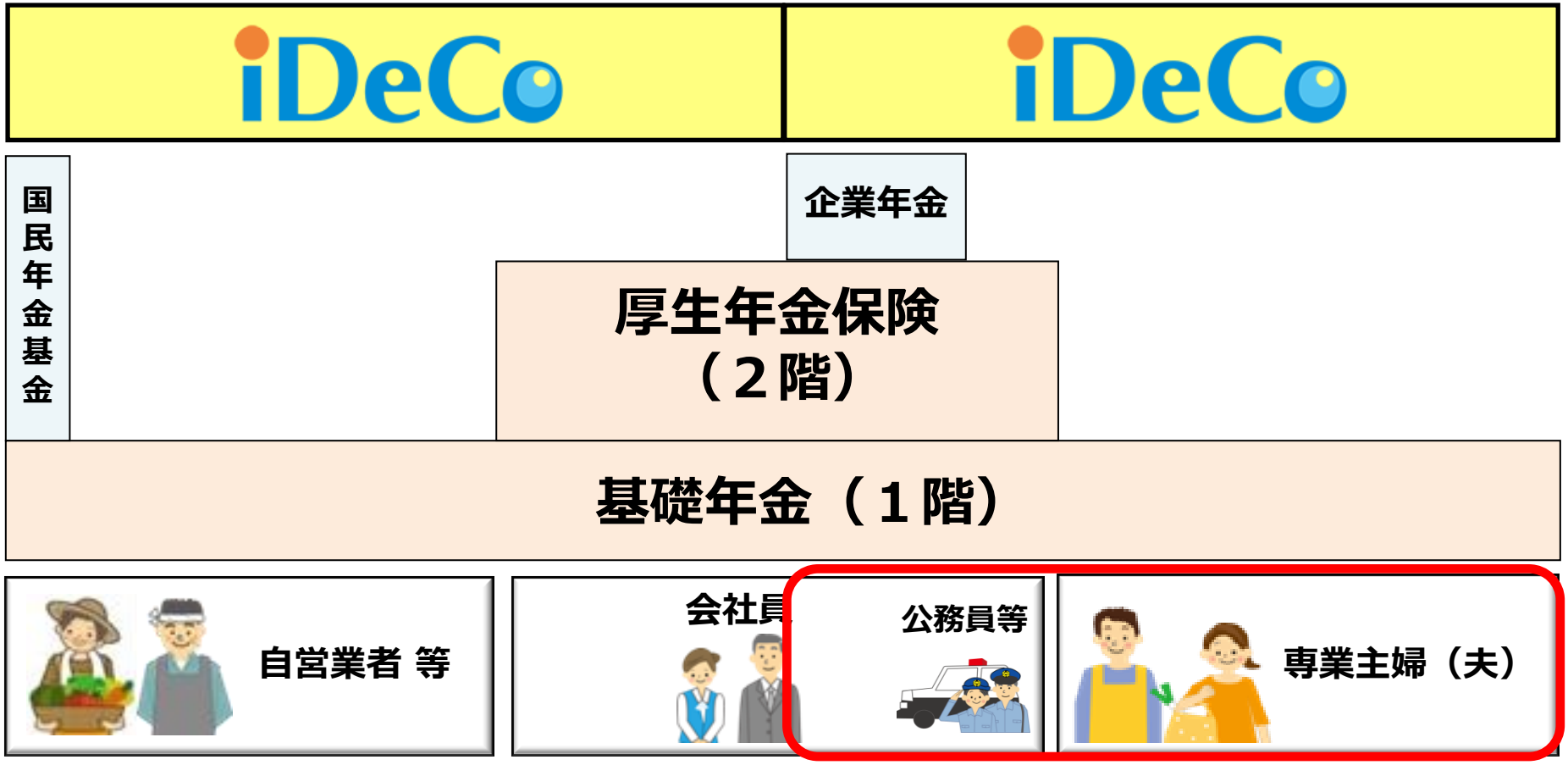
簡単に言うと、iDeCoは**税の優遇**を受けながら、豊かな老後生活を送るための**資金準備**ができる、**法律に基づく**年金制度デコ。

iDeCo普及推進キャラクター
「イデコちゃん」

年金制度の体系（イメージ）

○１階部分 ⇒ **基礎年金**
○２階部分 ⇒ **厚生年金保険**
公的年金

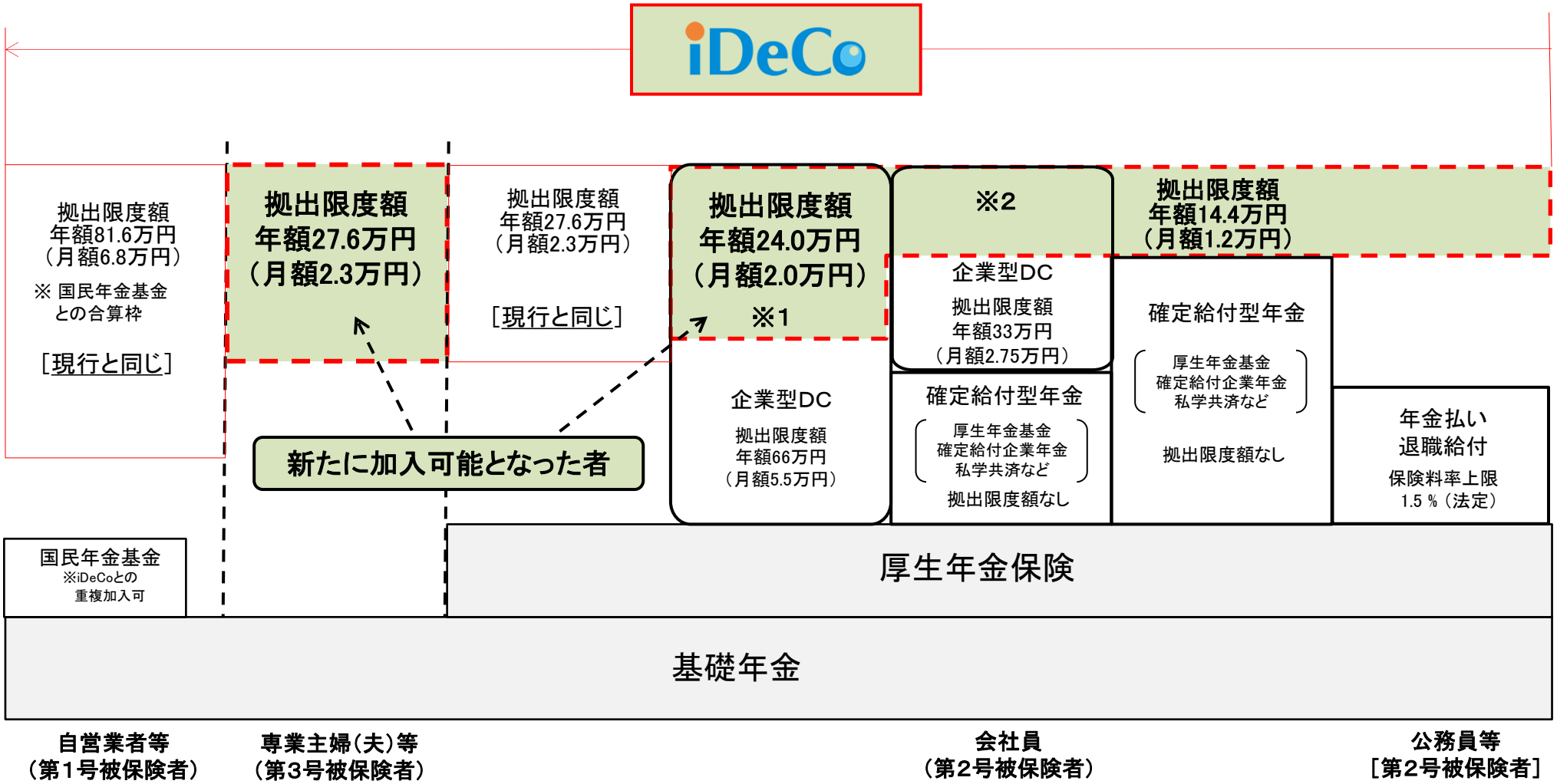
○３階部分 ⇒ **iDeCo 等** → **私的年金**



※今回の拡大対象

iDeCo の加入可能範囲の拡大（2017.1～）

□ 労働の多様化が進む中、生涯にわたって継続的に老後に向けた自助努力を可能とするため、iDeCoについて、第3号被保険者や企業年金加入者※、公務員等共済加入者を加入可能とする。
※企業型DC加入者については規約に定めた場合に限る。



※1 企業型DCのみを実施する場合は、企業型DCへの事業主掛金の上限を年額42万円(月額3.5万円)とすることを規約で定めた場合に限り、iDeCoへの加入を認める。
※2 企業型DCと確定給付型年金を実施する場合は、企業型DCへの事業主掛金の上限を年額18.6万円(月額1.55万円)とすることを規約で定めた場合に限り、iDeCoへの加入を認める。

iDeCo（個人型確定拠出年金）とは

iDeCo の仕組み

加入者が自ら定めた掛金額を拠出・運用。原則60歳以降に、掛金とその運用益の合計額をもとに給付額が決定し、給付を受ける制度です。

提示された運用商品から商品を選択して積立金を運用

加入者個人が拠出

運営管理機関が提示した運用商品

商品A　商品B　商品C　etc…

加入者個々人が
運用商品（預金、保険、投資信託等）を選択

原則60歳以降、加入者それぞれの「拠出額」と「運用収益」との合計額をもとに「給付額」が決定し、給付が始まります。

年金、一時金等で受け取り

加入

1 掛金を拠出

・年１回に限り掛金額の変更可能
・運用のみを行い、掛金拠出の停止も可能

2 運用

運用商品の配分変更、スイッチングはいつでも可能

3 給付

受給開始年齢到達後、給付の請求をしない場合は、引き続き資産を運用することができる。

iDeCo 3つの税制優遇

掛金が全額所得控除されます

例えば、毎月２万円ずつ掛金を拠出した場合、税率20%とすると、年間４万８千円の節税効果となります。

運用益も非課税で再投資されます

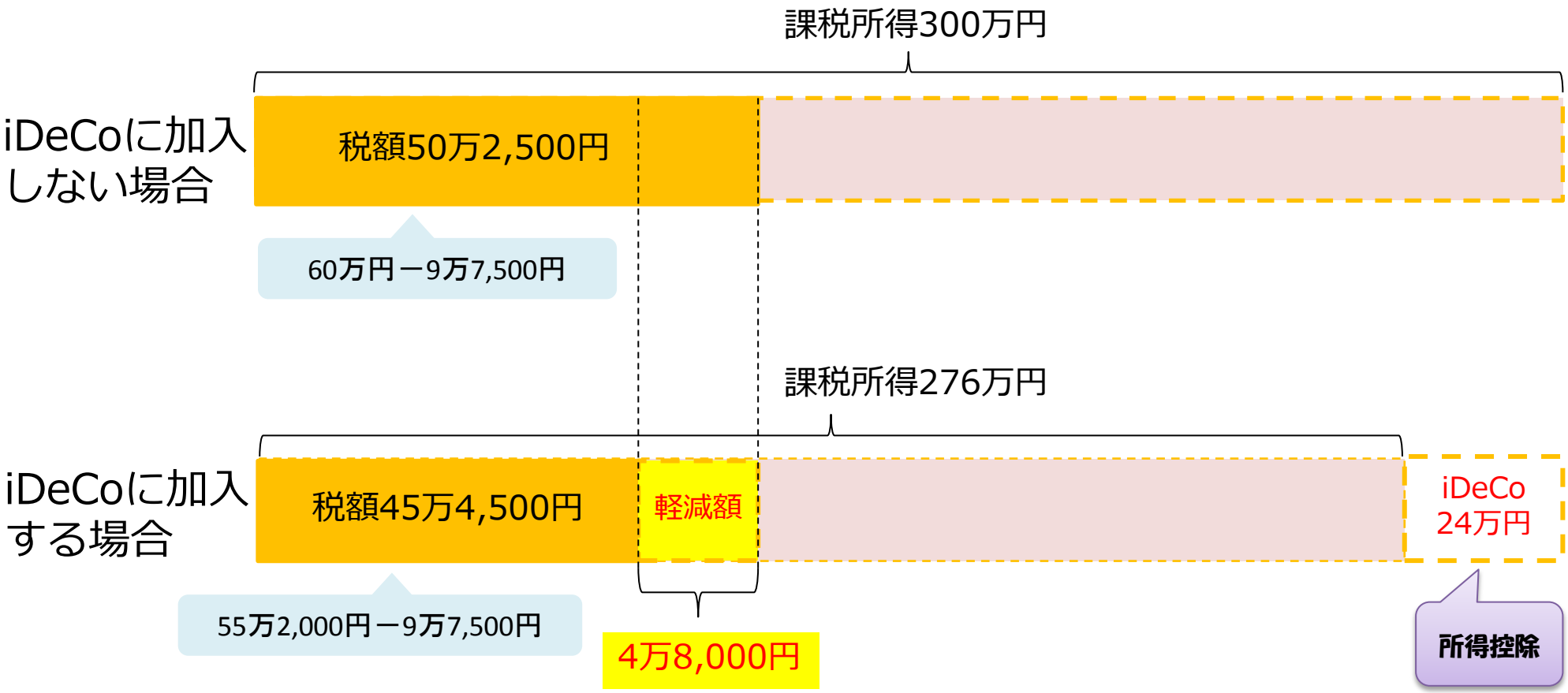
通常、金融商品の運用益には税金（源泉分離課税20.315%）がかかりますが、iDeCoの運用益は非課税です。

※ 積立金には別途1.173%の特別法人税がかかりますが、平成31年度末まで課税が凍結されています。

受け取る時も税制優遇措置があります

一時金として受け取る場合は「退職所得控除」、年金の場合は「公的年金等控除」という大きな控除が受けられます。

iDeCoの税制優遇（拠出時）



《前提》

○ 課税所得300万円　⇒　所得税率：10%、住民税率：10%
（所得税の控除額：9万7,500円）

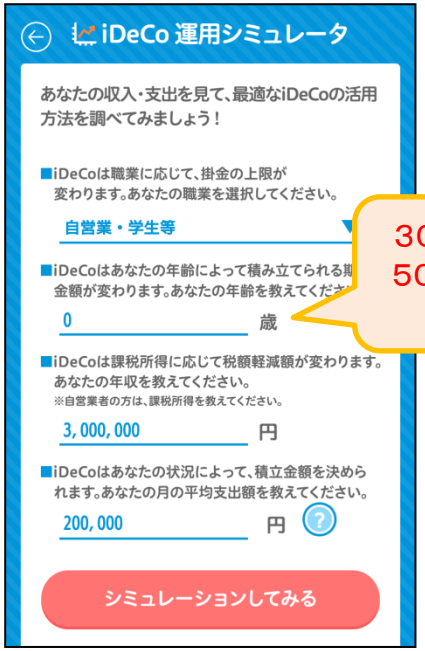
○ iDeCo掛金：月額2万円（年額24万円）拠出

○ iDeCo年間手数料：約6,000円（金融機関によって異なる）

iDeCoアプリによる資産形成シミュレーション

＜シミュレーション前提＞
- 職業：自営業
- 課税所得：300万円（所得税10%、住民税10%）
- iDeCo掛金：月額2万円
- 運用利回り：年3%

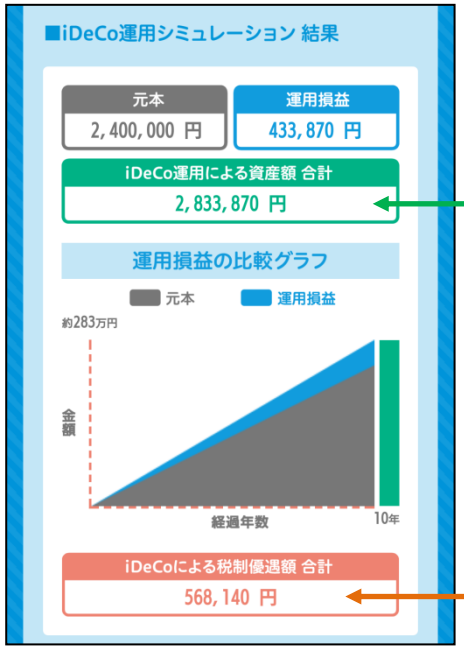
➢同条件で、30歳から加入と50歳から加入した場合を比較



30歳加入と
50歳加入で
比較

30歳加入

50歳加入



同条件でも、加入年齢によって資産額や税制優遇額に大きな差が！

☆加入（運用）期間が長い程、資産形成は有利に！

iDeCoの仕組み

金融機関を選ぶ

✤各金融機関のコールセンターやウェブサイトから資料を請求

毎月の金額　&　運用商品とその配分　を決める

✤毎月の金額は、5,000円以上1,000円刻みで、上限まで拠出可能

※2018年1月からは、掛金の拠出を1年で考え、年1回以上、任意に決めた月にまとめて拠出することも可能

✤運用商品には、元本確保型と投資信託があり、自由に選択可能

iDeCo 加入！

iDeCo

元本確保型商品

- 預金 貯金
- 生命保険 生命共済
- 損害保険

選択可能

（両者の組み合わせも可能）

投資信託

- 国内債券
- 国内株式
- 外国債券
- 外国株式

資産複合

- 資産配分固定型（バランス型）
- ライフサイクル型（ターゲットイヤー型）

等

例えば・・・

毎月5,000円を
・預金 50%
・投資信託 50%
（国内株式）

iDeCoの留意点

60歳前の引き出しに制限があります

・iDeCoは、老後の資産形成を目的とした年金制度であるからこそ、税制優遇措置があります。このため、**原則60歳まで引き出すことができません**。

・掛金の額は、年に１回変更することができます。

受け取る金額は、運用成績によって変動します

・運用商品には、預貯金や保険といった元本が確保される商品もありますが、**投資信託など元本が確保されない可能性がある商品もあります**。

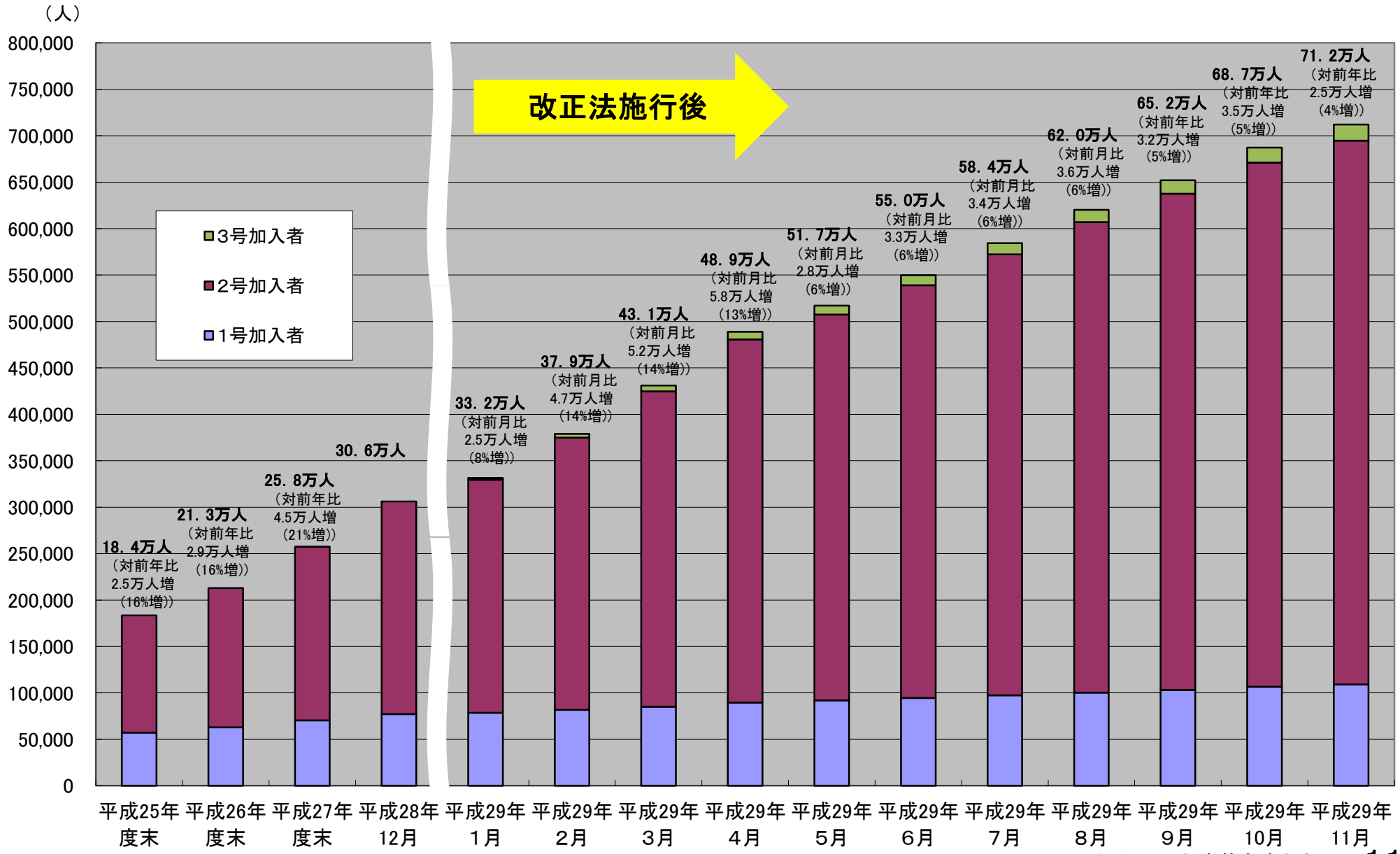
・**金融機関ごとに商品が異なります**。

手数料がかかります

・加入時の手数料や毎月の口座管理費などの**各種手数料があります**。

・**金融機関ごとに手数料が異なります**。

iDeCo 加入者の推移



（出所）国民年金基金連合会HP

iDeCo公式サイト　ご案内

イデコ公式サイト　検索

https://www.ideco-koushiki.jp/

『理解促進』と『行動喚起』の役割を担ったiDeCo公式のＷＥＢサイト。
各運営管理機関の検索や様々なコンテンツを搭載しています。

トップページ

iDeCoってなに？

●iDeCoの制度概要やメリットをイラストやグラフを使用して説明しています

iDeCoカンタン加入診断

●iDeCoに加入できるか、掛金の限度額はいくらか、簡単に診断することができます

税制シミュレーション

●iDeCoの税制メリットを年収、年齢、掛金を入力するだけで簡単に試算することができます

マンガ・アニメでわかるiDeCo

●iDeCoがわかるマンガやアニメを掲載しています

ライブラリ

●iDeCoの各種資料や届出様式の記入例などを掲載しています

運営管理機関一覧

●iDeCoの運営管理機関を検索して、各金融機関の連絡先、手数料などを確認することができます

画像提供：国民年金基金連合会

マンガ・アニメでわかるiDeCo ご案内 http://www.ideco-guide.jp/movie/

特設WEBサイト「iDeCoガイド」にて、「マンガ・アニメでわかるiDeCo」を掲載しております。
老後資金計画の自分事化を喚起すること～制度概要説明～申し込みまでの一連の流れをマンガやアニメで分かりやすく説明しております。

マンガ・アニメでわかるiDeCo

アニメ

①老後について、考えよう。

●老後資金計画の自分事化を喚起

②iDeCoを知ろう。

●制度の概要を説明

③金融機関を選ぼう。

●金融機関を選ぶ場合の判断材料を説明

④運用商品の種類を知ろう。

●運用における留意事項を紹介

⑤運用商品を選ぼう。

●運用商品の選び方を紹介

⑥年金をいつ・いくらもらえるのか知ろう。

●老齢給付金の受給関連事項を紹介

⑦iDeCoお申し込みまでの流れ。

●第2号被保険者が新規に加入する場合を紹介

マンガ

●アニメ同様の1～7話の構成で、iDeCo申し込みまでの一連の流れを説明。読み手のペースで読み進めることが可能。
●PDFファイルによるダウンロードも可能であり、マンガ冊子として金融機関などがiDeCoの普及活動等に活用可能。

画像提供：国民年金基金連合会

iDeCoアプリ ご案内

ストーリー形式のゲーム、運用シミュレータやARイルカショーなどのコンテンツを搭載した「iDeCoアプリ」を提供しております。

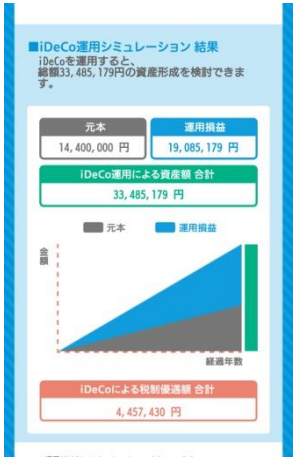
iDeCoアプリ

GET IT ON Google Play　Available on the App Store

①Happy iDeCo Story

キャラクターとの対話を通じて進むストーリー形式のコンテンツ。iDeCoに加入した場合とそうでない場合の違いや、iDeCoに加入することでどれくらいの税制メリットがあるのかを理解することができます。

②iDeCo運用シミュレータ



自分の年齢や年収、月々の支出を入力し、掛金と利回りを調整することにより、iDeCoによる資産運用をシミュレーションできます。利回り率による変動などを直感的に理解することができます。

③イデコちゃんのARイルカショー

加藤綾子さんとシロイルカのイデコちゃんが、AR(拡張現実)によりiDeCoのメリットを分かりやすく解説します。

画像提供：国民年金基金連合会